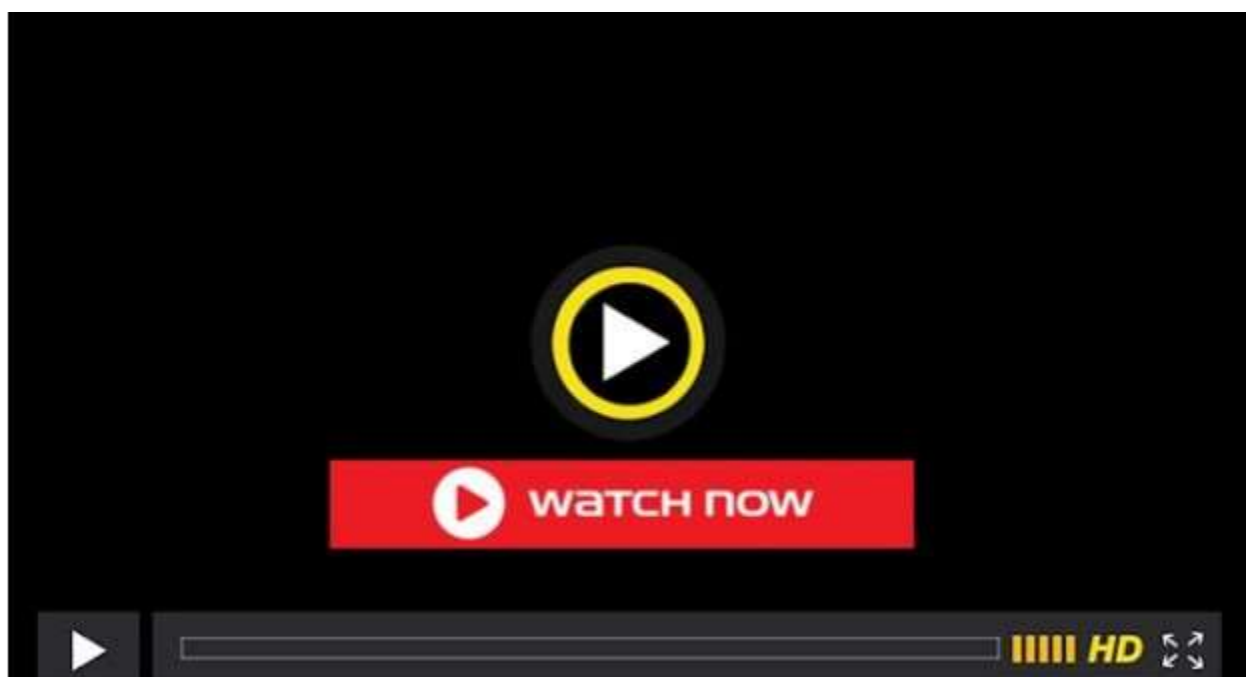


!>【公式LIVE放送!】 ACNツアー ジャパンクリエイト トチャレンジ in 福岡雷山 2026放送・テレビ放送 ・生中継・ライブ配信・生放送・ライブ放送 2026 年10月21日

ACNツアー2026年 ジャパンクリエイトチャレンジ in 福岡雷山大会初日ライブ配信 大会名称 ジャパンクリエイトチャレンジ in 福岡雷山開催回数 第13回開催期間 2026年10 ...



年間王者争いがいよいよ大詰め! 『ジャパンクリエイトチャレンジin福岡雷山』が開幕
ACNツアー第13戦『ジャパンクリエイトチャレンジin福岡雷山』が、福岡県の福岡雷山
ゴルフ倶楽部で21日水曜日より開幕する。

シーズンも残り2戦であり年間王者の栄冠を巡る戦いはクライマックスを迎えている。

本大会は3日間競技としてはACNツアー最高額となる賞金総額2,000万円（優勝賞金360万円）を誇り、賞金面でも選手たちのモチベーションを大きく刺激する大一番。過去には久常涼や蟬川泰果、生源寺龍憲といった歴代王者たちが本大会での勝利をきっかけに大きな飛躍を遂げており、若手の登竜門としても大きな注目を集めている。

舞台となる福岡雷山ゴルフ倶楽部は、雷山の自然豊かな地形を活かした戦略性の高いコース。

変化に富んだアウトコースと、落ち着いたレイアウトの中で細かなライの読みが求められるインコースがあり、

終盤のプレッシャーの中で選手たちは、巧みな技術と強靱なメンタルが試されることになるだろう。

現在ポイントランキング1位を走る木村太一（1,524.157pt）は、今大会で優勝し年間3勝目を達成すると、

他選手の成績に関わらず年間王者を確定させるとともに、翌週からツアートーナメントへの出場権を得ることが出来る。

また、優勝できなくても「5人までの2位タイ」または「2人までの3位タイ」に入ると他の選手の結果次第では年間王者戴冠が決まる可能性がある。

ACNツアー唯一、今季2勝を達成しており、木村が圧倒的優位な状況ではあるものの、今大会優勝獲得ポイントは540pt、最終戦『ディライトワークスJGT0ファイナル』はその1.5倍の810ptとあって、追いかけるライバルたちにもまだまだチャンスは残されている

多くの選手が2週連続優勝が条件だが、6位黒木紀至までは今大会で予選落ちしたとしても木村の結果次第では最終戦での逆転戴冠の可能性が残されており、7位から18位までの選手は今大会での上位フィニッシュでも逆転王者への道は残される。

独走で年間王座を決めたい木村と、最終戦へ望みをつなぎたい後続組による激しい攻防が期待される今大会。

歴代チャンピオンたちの系譜に名を刻むのは誰か、糸島の地で繰り広げられる熱戦に注目だ。

縁の深い地元・糸島でシード確定&逆転王座へ！内山遥人が見せる強い自信

ACNツアーの第13戦『ジャパנקリエイトチャレンジin福岡雷山』が、福岡雷山ゴルフ倶楽部（福岡県糸島市）にて明日から開幕する。

今季も残り2戦となり、年間王者のタイトル争いはもちろん、来季のレギュラーツアー前半戦出場権を得られる「ポイントランキング上19名」を巡る争いも佳境を迎えている。この大一番を前にひときわ強い想いで挑むのが、地元の期待を背負う内山遥人（うちやま・はると）だ。現在ポイントランキング19位につける23歳が、ホームコースで勝負の3日間に臨む。

内山にとって今大会の舞台である福岡雷山ゴルフ倶楽部は、日ごろから練習させていたっている契約コースであり、生まれ育った地元・糸島市にあるホームグラウンド。直前のオープンウィークもこの地で徹底的に調整を重ねてきた。内山は「先週も休みだったので練習に来させてもらっていました。自分の状態も良くなってきたのかなと思います」と手応えを口にする。「今年の中旬、自分の中でいまいちだなという時期があった

んですが、そこから感覚だったり色々修正して、本当にここ2週間くらい良い感じで来られています。それが今週出せればなと思います」と、シーズン中盤には一時的な不調にも悩まされたが、技術面や感覚の微調整を重ねて復調したようだ。

現在ポイントランキング19位の内山にとって、今大会は来季レギュラーツアー前半戦出場権の確保、さらには年間王者争いへと浮上するための最大の山場となる。「いま19位で残り2戦なので、もしタコタコになっちゃったら結構厳しい状態ではあると思うんです。今週上位に行って、シードを確定させた状態で来週を迎えられたらな、というのは思います」と冷静に現状を見据える。

過去4回の出場では苦しい展開となる大会もあったが、2024年大会では初日首位発進から2位フィニッシュを果たし、レギュラーツアー出場権確保への大きな足がかりを作った飛躍の舞台でもある。「まずは今週。上位と言わず、優勝を目指して頑張りたいなと思います」と力強く語る。

コースを知り尽くしているからこそ、攻略に向けた警戒感も怠らない。内山がキーポイントに挙げるのが、難易度の増すインコース、特に11番ホールだ。「たぶんアウトよりもインの方がスコアを伸ばしづらいホールが多いのかなと。あと、11番もパー4でティーショットが狭くて距離も長くなるので。それこそ2年前とかは11番くらいで最終日にやらかしたことがあるので、そこら辺が鍵かなと思います」と過去の教訓を胸に刻む。

地元・糸島の風とグリーンを知り尽くしたアドバンテージ、そして直前で掴んだ確かな手応え。

好結果を残した思い出のコースで自身のポテンシャルをフルに発揮し、来季出場権獲得とツアー初優勝を引き寄せることができるか。

内山遥人の勝負の3日間に注目が集まる。